

●○○●● 主な内容 ●○○●●
 学友会新体制発足
 後期代議員会報告
 局総会報告
 ○●○○●●○○●●○○●●○○●●
 2014年(平成26年)
 4月2日発行
 第22号

創大 学 友 新 聞

-THE SODAI GAKUYU SHIMBUN-

【発行所】
 創価大学学友会
 東京都八王子市丹木町 1-236
 郵便番号 192-8577
 電話 (042)-691-0806
 ◎ 創価大学学友会 2014年
<http://gakuyukai.soka.ac.jp>

学友会 新体制発足

2月6日、学友会本部役員執行交代式が行われ、第41代学友会が正式に発足した。体育・学術・文芸の各局委員長からのメッセージをここで紹介する。



第41代体育会委員長
谷川 竜平

皆さんこんにちは！第41代学友会体育会委員長を務めさせていただきますことになりました。軟式野球部出身の谷川竜平と申します。1年間、創大建設の主体者として池田先生の為、創大建設の為、全力で戦ってまいりますので何卒よろしくお祈り致します。1年次に軟式野球部に入部し、様々な場所でお戦わせていただく中で創大の魅力を感じ、創立者の真心、素晴らしい先輩・同期・後輩に触れながら成長することができました。今まで受けてきた恩に報いる為に、現役創大生としての最後の年に体育会委員長という立場で創立者にお応えしてゆきます。



第41代文芸局委員長
安田 健司

この度、第41代文芸局委員長を務めさせていただきますことになりました。文学部人間学科41期、Soka Music Society出身の安田健司と申します。私は創立者の心を創価大学に永遠に残すために誰よりも戦い抜いて参ります。創立者の心とは目の前の一人を徹して励まし抜くという心だと私は考えています。



第41代学術局委員長
宮住 哲夫

創価幼稚園研究会出身の経営学部41期の宮住哲夫です。この度、第41代の学術局委員長として戦わせて頂くことになりました！私の創大生活はクラブと共にあり、創価大学を大好きだと思えたことも、創大生として創立者を求めようと思える自分になったのも、クラブでの経験があったからです。

局総会報告

体育会総会

体育会の部に所属している全創大生を対象とした体育会総会が、1月30日にディスカバリーホールにて盛大に行われた。



▲体育会総会の様子



▼学術局総会の様子

学術局総会

全学術局団体が集まった学術局総会が1月31日、ディスカバリーホールにて開催された。

今回の体育会総会の実行委員長である梶川君は、「どこまでも創価大学体育会のクラブという誇り、創価の名を背負っているということを忘れず、またクラブで培った、強靱な精神と健全なる身体、そして創価の負けじ魂を忘れず、社会へ実証を示していく決意ができる場になればと思います」と述べ、今回の会合で創価大学の体育会クラブの一人ひとりとして誇りを胸に団結していこうと呼びかけた。また、体育会クラブ代表者による「後継」の演目が行われ、会場は熱気に包まれた。次に、創価大学7期学友会運営委員長の飛田さんから、草創期の体育会クラブの様子や当時のクラブと先生についてお話を聞いた。今回の総会には300人を超える体育会クラブ員が参加し、体育会クラブ主催の会合として最大級の規模となった。総会を通して、他のクラブ団体の素晴らしさや、体育

びかけた。総会のメインムービーのテーマは「自覚」。一人ひとりが世界平和を担う使命があると伝えた。

活動報告では、パン・アメリカン友好会出身の40期石橋愛詠さんが、クラブ活動と進路との両立について元気いっぱい報告。将来アフリカのために消防官として貢献すべく、猛勉強の末、見事神戸市消防局の採用を勝ち取ることができた。

創価教育学会出身の42期陵城 真央さんは、教育を学びたいとの思いで創教研へ入部。先輩の真摯な姿に奮起し一つひとつのことに全力で挑戦しようとした。創教研三指針にある『創価教育の体現者たれ！』の通りに、創価教育体系を真剣に学び、同期や先輩のために行動していきます」と決意を述べた。

後継企画では、各クラブの代表者が平和への願いを込めシュプレヒコールを行った。その後、「地球は一つ」であり、互いに手を取り合い平和な未来を切り開くという創立者の思想と共通のメッセージが込められている「The Are The World」を肩を組み皆で大合唱した。

総会後には、「学術局の使命の深さを実感した」「世界平和に向けて、自分出来る事に挑戦していきたい」「自分が創大を創り上げていく一員であるということを再確認することができた」というクラブ員の声が寄せられる等、新たな決意を胸に出発を切る会合となった。

青春の光

近年稀にみる豪雪を乗り越え、3月20日に創価大学第40回卒業式が盛大に執り行われた。卒業生は大学生活で得たものを存分に社会で発揮していく決意を新たにしたい。創立者は、第40回入学式のスピーチの中で、「若き君たちの生命は、一日一日、毎日が成長である。一月一月、前進である。一年一年創造なのです。全員が勝利の人生を歩んでもらいたい。」(第40回入学式スピーチ)と述べられている。創大生一人ひとりが毎日成長の日々と言える学生生活を送っていくことを創立者はご期待されている▼卒業後は、それぞれが様々な道に進むが、我々創大生は、師匠との誓いを決して忘れてはならない。創立者は、「私は勝って勝って勝ちぬいた！これがわが人生の最高最大の誇りだ。君もまたわが弟子になれば決して『誓い』を忘れるな！青春の『誓い』に結ばれた創価同窓の連帯こそ世界をつなぐ金の橋であるからだ。」(桂冠詩人の世界何があっても君はわが最愛の弟子)と綴って下さっている▼創価大学での日々で創立者と共に築いてきた師弟の絆は、自身で誓いを立て、戦い抜いた時に深まったのではないだろうか。創大40期生、短大28期生はこれから社会に飛び立つにあたり、創大卒業生であるという誇りを胸に、社会の荒波に立ち向かいそれぞれの場所で勝利してまいりたい。

後期代議員会 行われる

後期代議員会が昨年11月21日、S202教室で行われた。代議員会の軸を「団結」(団体や局の垣根を超えて異体同心の精神で創大建設する)・「後継」(これまでの戦いや思いをしつかりと伝え残し、来年度のクラブ運営や創大建設に活かしていく)・「出発」(来年度に向けての決意をしていく)の3つに定め、創大建設につながる代議員会を目指した。

今回の代議員会の5号議案では、「後継のバトンプロジェクト」が提案され、賛成多数により可決された。

後継のバトンプロジェクトは、創立者の精神や思想、そして草創から続く先輩方のクラブに対する思いを学び、一人ひとりが自発的に創大建設を実践していく創大生になっていくことを目的としている。年に2回の研鑽を各クラブ

▲学友会受付に設置された研鑽資料BOX



創業者との絆 〜アメリカンフットボール部〜

「創部のときから創業者と共にあるクラブが、このアメリカンフットボール部です」と語るのはアメリカンフットボール部(以下アメフト部)40期、元主将の河田貴寛さんだ。アメフト部の歴史は、草創期の部員が荒地だった第一グラウンドを使える状態にするところから始まった。一つひとつ木や石を撤去する地道な作業を続ける中で、創業者から厳しい練習の中、創業者から直接激励を頂き、これが後に全クラブ団体の原点となった。

その御指導の中で創業者は、「道を切り開いて行くのは、大変だ。伝統の中で、クラブを作るのは簡単だ。いつの時代でも、道を切り開くのは大変だが、切り開いて行くと、泥だらけになってやっていると。草創期とは、大変なんだ」と語りかけられた。全ての創大クラブに向けた、成長と発展を願う心からの激励である。

みんなで恩返しプロジェクト

一方、7月に行われた前期代議員会で可決された、「みんなで恩返しプロジェクト(MOP)」は、学生センターの使用開始と同時にスタート。会議室などの各部屋に掃除用具を設置すると共に、鍵の貸出時にチェックリストを渡し、施設使用後の清掃を各クラブに協力頂いている。

創立者の御配慮、寄付者の方など多くの方の支えに対する感謝を行動に移していくためのこのプロジェクトは、2014年度からは池田記念講堂の施設の清掃や、定期的な部室・活動場所の清掃等にも広げていく予定で、さらなるプロジェクトの発展が期待される。

「創業者のクラブへの期待と励ましの心を実感しました。部全体でお会いしたという思いで、創立者に勝利の御報告ができるように、改めて練習に励む決意ができました」と振り返った。

ここからアメフト部の怒涛の快進撃が始まる。激励の最中に行われていたリーグ戦では、40期が入学してから一度も勝てなかった宿敵の大学との試合を制し、三部リーグ優勝を果たした。昨年12月7日には二部昇格をかけた試合が行われた。結果は惜敗であったが、OB・OGも駆けつけ、部を支える多くの人々の姿を通し、クラブの伝統と継承の思いを見ることができた。

また、アメフト部では創立者の「両輪で生きていくのが一番いいんだよ」とのお言葉から、進路と部活の両立に挑戦している。歴代の先輩には、アメフトの日本代表選手や銀行の支店長など、企業の中核となって活躍する先輩も多い。「クラブ活動との両立という制約の中だからこそ、先輩、後輩、そして同期とチームスタッフのおかげで勝ち取れたと思います」と河田さんは語る。

最後に、これからの創大クラブとして、「クラブは魅力があれば続いていきます。形を変えていく勇氣も必要です。アメフト部はこれからも創立者と共にあるクラブとして、活動や試合を通して創価大学を感じてもらえるクラブでありたいです」と語ってくれた。

創価の輝き

●女子柔道部
講道館杯
全日本柔道体重別選手権大会
78キロ超級
後藤美和 7位

●パイオニア吹奏楽団
第39回
アンサンブルコンテスト本選
クラリネット八重奏 銅賞
金管八重奏 金賞

●陸上部(長距離)
八王子駅伝
Bチーム 2位

●キックボクシング部
学生キックボクシング大会
宮崎隆太郎
フライ級チャンピオン
岡野弘之
フェザー級チャンピオン
佐々木秀樹
ライト級チャンピオン

●クルーダンス部
United Spirit Association
Japan 東京予選
2位 全国大会出場決定

●テコンドー部
南関東テコンドー選手権大会
川又正昭 フィン級準優勝
西垣康男 フライ級準優勝
加賀山俊 ライト級準優勝
国広徳之 フェザー級準優勝

●落語研究会
国民的大学生芸人グランプリ
大学芸会団体戦2014
赤組 エテ×モンキー
山田賢太郎
電気ドンキー
優勝



団体優勝



2位 全国大会出場決定

本部棟展示

本部棟5階エントランスホールにて行われている特別展示をご存知だろうか。正面玄関から入って右奥に進むと、パネルとパネルの間に入り口がある。その奥には、これまで様々なクラブに創業者からいただいた激励の品々が展示されている。

これらの激励品は、2012年から2013年にかけて各クラブの協力により集められ、全創大生が見られるよう展示されることになった。直筆で書かれた御揮毫には、創立者の創大生に対する万感の御期待と激励が込められている。草創から今日にいたるまで、創価大学のクラブとして受け継がれてきた精神が感じられる展示となっている。

その中に、英語研究会に贈られた、

創大乃
羅汁が訳せし
御書いだき
勇みてわれは
広布に世界に
五月二十六日
大作

創価大学は
私の生命である
故に、創大生は、
私の真の弟子である
五月三日
大作

「私の生命」とまで言うてく
ださる創業者への恩返しとし
て、これからのクラブでさら
なる飛躍を目指し、社会で光
る人間性をますます磨いてい
きたい。

中川正樹さんが創価大学の弁
士として見事優勝を果たした。
中川さんは池田杯を通し、支

男子フットサル部
カレッジフェスタ埼玉予選
関東大会出場決定

男子フットサル部
カレッジフェスタ埼玉予選
関東大会出場決定

男子フットサル部
カレッジフェスタ埼玉予選
関東大会出場決定

男子フットサル部
カレッジフェスタ埼玉予選
関東大会出場決定

男子フットサル部
カレッジフェスタ埼玉予選
関東大会出場決定

男子フットサル部
カレッジフェスタ埼玉予選
関東大会出場決定

男子フットサル部
カレッジフェスタ埼玉予選
関東大会出場決定